

(別表)プロトコール

(試合開始前、セット間及び終了後の手順)

(試合前)

6人制(セット用)

	チーム	主審・副審
	両審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用せずにウォームアップすることができる。	両審判員は、ネットの高さ、張り具合やアンテナの位置及びサイド・ハンドの位置をチェックする。
11分前	キャプテンは、トスの為に記録席へ行く。トスの後、記録用紙にサインする。	主審は、記録席で副審を立ち合わせてトスを行う。両チームのキャプテン、監督を記録席に導き、記録用紙にサインさせる。
10分前	両チーム一緒に又は個別に(サーブ権を得たチームから)公式ウォームアップをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">公式ウォームアップ時使用のボールは各チームで用意。</div>	主審は、公式ウォームアップ開始を吹笛で合図する。ボール、スコアシート、ユニフォームなどゲームに必要な道具をチェックする。ラインジャッジ、モップと打合せを行う。副審は、公式ウォームアップの計時を行う。
7分前	個別に公式ウォームアップを行っている場合は、交代する。	副審は、各チームが個別に公式ウォームアップを行っている場合は、その交代を吹笛で合図する。
4分前	公式ウォームアップを終了し、各チームのメンバーは速やかにベンチへ戻る。	主審は、公式ウォームアップの終了を吹笛で合図する。
3分前	全選手はエンドライン上に整列する。主審の吹笛と合図でネット付近で両キャプテンが握手する。そしてチームメンバーが続いて握手する。その後、各チームのメンバーはベンチに戻り、スターティングプレイヤーは、ユニフォーム姿で待機する。	主審は、両チームのプレイヤーをエンドライン上に導く。主・副審は審判台の前で、ネットを挟んで記録席から見て左側に主審、右側に副審が位置する。両チームが整列したら、挨拶(握手)を交わすように吹笛で合図する。審判役員はそれぞれの位置につく。
1分30秒前	主審の吹笛の合図で、スターティングプレイヤーは、ベンチから直接コートへ入る。	主審は吹笛で合図して、プレイヤーをコート内へ導く。副審及び記録員は、それぞれスターティングラインアップを照合する。その後、副審はボールをサーバーに送る。
0分前	最初のサーバーは、サービス許可の吹笛によりサービスを行う。	主審は、サービス許可の吹笛をする。

(セット間)

	チーム	主審・副審
セット終了後	セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。プレーヤーは、主審の吹笛の合図で、右側のサイドラインに沿って進み、支柱の外側を通過したらそれぞれのベンチへ戻る。	主審は、プレーヤーがエンドライン上に整列したら、コートを交代するよう吹笛とシグナルで合図する。
2分30秒前	プレーヤーは、副審の合図により、ベンチから直接コートに入る。	副審は、記録員の合図を受けて、両チームにコートに入るよう吹笛で合図する。その後、直ちにスターティングラインアップを照合する。

(第3セットのコートチェンジ)

	チーム	主審・副審
いずれかのチームが8点目(決勝3決は13点目)を先取した時	主審の吹笛とシグナルの合図で、コート上のプレーヤーは、そのままの位置から向かって右側の支柱の外側を回り、コートを交代する。	主審は、8点目(決勝・3決は13点目)の吹笛の後、両チームにコートを交代するよう、吹笛とシグナルで合図する。

(試合終了後)

	チーム	主審・副審
速やかに	試合が終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列し、主審の吹笛でネットに近づき、相手チームと挨拶(握手)を交わす。キャプテンは、主審と副審に感謝の握手をする。そして記録用紙にサインする。チームは直ちにベンチから退席する。	主審は、コート上のプレーヤーをエンドライン上に整列させる。主審は審判台を降り、副審が審判台右側の定位置に着いたら、吹笛と合図で両チームに挨拶(握手)をさせる。そして両チームのキャプテンを伴って記録席に行き、記録用紙にサインさせ、その後、記録員の記録用紙への記入を完了させる。

[注]

1. ボール1個による試合のため、副審は、セット間の試合の中断、コートの交代及びタイムアウト時にボールを保管し、試合再開時にサーバーに渡す。